



「甲子園栗木皮膚科クリニック」
栗木安弘院長

病気の元になっているのは栄養不足。薬に頼らずできるだけ減らして食事改善やサプリメントを使い十分な栄養を取ることが健康につながる。
医院ではGMP(適正製造規範)基準適合工場で作られた高純度・高品質なサプリメントを取り扱っている。



丁寧な診療と分かり易い説明、正しい医療知識の提供で患者が全身の健康を取り戻すことを目指している。

皮膚科一般や皮膚外科、オーソモレキュラー医学に基づいた栄養療法を行い、さらにねたきりの方のために往診で床ずれやかゆみの治療を行っている。



診療時間/
9:00~12:00
16:00~19:00
(木曜日17:00~19:00)
土曜日9:00~13:00
休診日/日曜日・祝日
土曜日午後

体の内部から皮膚の健康を根本的な改善を図る栄養療法

「甲子園栗木皮膚科クリニック」では一般皮膚科での治療と共に、オーソモレキュラー医学(分子整合栄養医学)に基づく栄養療法を行っている。通常の皮膚科の場合、皮膚の異常を病気と捉えて主に塗り薬やスキンケアなどでの治療をしていくが、当クリニックの栗木院長は、皮膚の異常は内臓など体の異常が反映されたものと捉えている。
「従来、内臓の異常は、糖尿病や脂肪肝、貧血、がんといった内臓の病

気だと思われてきましたが、実はその背景にはすべて、栄養障害による組織や器官や臓器の機能低下があるのです。病気とはそれら機能低下に対して個々の病名がつけられているものと考えています」と栗木院長。
現代医療は、栄養障害がもたらす個々の症状や疾患を薬で抑えているだけなのだという。
例えば、高血圧、糖尿病、脂肪肝などの内臓疾患を薬で抑えたとしても、その原因である栄養障害は解決しない。
だから現代医療で治療し、治ったように見えても、根本の原因がそのままである限り、皮膚の異常や、様々な不定愁訴が続くのだ。
当クリニックでは、皮膚科専門医による一般の皮膚科診療も行っているが、それでも良くならない方や、症状を繰り返す方には、血液検査を行い、必要とされる栄養素をオーソモレキュラー医学の見知から診断し、食事指導や、サプリメントで栄養を補う栄養療法を行う。

これは皮膚のみへのアプローチだけではなく、体の中から症状を改善する療法なのだ。
元来、この栄養療法によって皮膚だけではなく、身の改善を図れる。人体では栄養が足りなくなると、できるだけ体内の機能やホメオスタシス(生体恒常性※)を維持しようとして、皮膚や爪や髪の毛や粘膜といった体の機能にあまり影響の少ない臓器から栄養を流用する。
そのため、栄養障害が続く場合、そういった臓器の異常や症状として表れやすいのだ。
「皮膚は体の中の不調を映し出す鏡とも言われ、内臓などの疾患が反映するのです。だから表面の皮膚だけを薬で治そうとしても、原因である栄養障害を改善しなければ根本的に治らない。当クリニックの栄養療法は、栄養障害を解消することにより内臓の疾患を改善し、それに起因する皮膚の症状や疾患の改善を行うのです」
この栄養療法では、体に欠乏して

<改善例>
顔のしみ
ビタミンC、ビタミンEのみ内服(4ヵ月後)



4ヵ月後

いる栄養を与えることにより、全身の栄養バランスの乱れや偏りを正し、体の健康と共に美しい皮膚も取り戻せるのだ。
※自然治癒力や体の機能を一定に保つはたらき。
(ライター/本名広男)

甲子園栗木皮膚科
クリニック

☎ 0798-46-5612
☎ 0798-46-5622
📍 兵庫県西宮市上鳴尾町1-8-101
<http://www.kuriki-clinic.net/>